教科用図書調査報告書

甲府市教科用図書採択審議委員会

- 1 種目 地図
- 2 報告概要

教科書名 出版社名	特
11/1/11/11	(1) 調木の武次収込と従んの信却を禁用的に調べてしなり仕外を向に
	(1) 調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に
新しい社会	付けることができる内容であるか。
地図	・世界の諸地域を学ぶ際にさまざまな視点から捉えた多面的な資料
	が準備されており、地域を動態地誌的にとらえるのに有効的であ
東京書籍	る。
	・現代社会の諸課題が扱われていたり(p7~14)、地理的分野と歴史
	的分野との関連づけを図るために歴史に関連した写真等の資料
	(p39,40p95,96) を用いたり、公民的分野との関わりを意識した資
	料(p131,132)等を用いるなど、地理的分野だけでなく、他の分野と
	の関連性を強く意識した内容になっている。
	(2) 地域や我が国の国土に関する地図や資料が適切に取り上げられて
	いるか。
	・巻末の日本周辺の地図が3ページにわたり掲載されており、日本の
	領土について理解しやすい。
	・山梨県に関連した資料が取り上げられている。
	p119 に甲府盆地の土地利用の変化についての資料 p120 に八ヶ
	岳山麓の抑制栽培についての資料 p148 に扇状地の写真と地形図
	p165 にゆるキャラとして武田菱丸
	(3) 地図や資料の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められ
	るよう配慮されているか。
	・資料に「ジャンプ」が設けられており、資料を他の資料と関連づけ
	てより深く考えることができるようになっている。
	・州、地方ごとに「基本資料」「テーマ資料」が掲載されており、基本
	をもとにして、学習を深めやすい。
	(4) 写真、挿絵、統計資料、地図等の表記や表現が適切であり、資料が
	活用されやすいよう配慮されているか。
	・生徒にとって身近な存在であるコンビニエンスストアを写真とし
	て掲載(p44,p112)するなど、生徒が考えるための「問い」となる
	ような写真が多く用いられている。
	・地図やグラフの色使いが淡く、目が疲れにくい。

	・州の鳥瞰図が海洋も含め立体的であり、地形について理解しやす
	٧٠°
	(1) 調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に
中学校社会	付けることができる内容であるか。
科地図	・世界・日本の諸地域を学ぶ際に、さまざまな視点から捉えた多面的
	な資料が準備されている。また、資料と資料の関連性がしっかりし
帝国書院	ており、諸地域を動態地誌的にとらえるのにとても有効的である。
	・p31,32p103,104,p107,108 は歴史的分野との関連性を意識した構成
	になっており、地理的分野の学習だけでなく他の分野(歴史的分野)
	や修学旅行の学習(総合)においても有効的に情報を得ることがで
	きる。
	・p130,p132,p149,150 には自然災害、防災に関する資料が用いられ
	ており、防災意識を高めるために有効的である。
	(2) 地域や我が国の国土に関する地図や資料が適切に取り上げられて
	いるか。
	・p187,188 において日本の領域について明確に示されており、p142
	には、北方領土の歴史的経緯についても取り上げられている。
	・山梨県に関連した資料が多く取り上げられている。
	p108 に甲州街道、世界遺産富士山に関する資料 p109 に八ヶ岳山
	麓の抑制栽培についての資料 p116 に甲府盆地の土地利用の変化
	についての資料 p145 に扇状地の写真 p164 に郷土料理として
	の「ほうとう」
	・世界の各州の地図の中に、同緯度・同縮尺等の日本が掲載されてお
	り、各州と日本との位置関係や面積等を比較しやすい。
	(3) 地図や資料の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められ
	るよう配慮されているか。
	・各ページに「地図活用」が設けられており、生徒が主体的に資料を
	活用して学ぶのに有効的である。
	・主体的に学習を進めるために必要となる統計資料の項目が多彩で
	充実している。
	・州の鳥瞰図にその地方の特徴をわかりやすく示すイラストが掲載さ
	れており、生徒の学習への関心を高めることができる。
	・京都や東京都の中心部など、生徒が興味をもつ都市の5万分の1の
	地図が載せられている。また、その地図にイラストが掲載されてお
	り見やすく、また都市の様子も比較しやすい。
	(4) 写真、挿絵、統計資料、地図等の表記や表現が適切であり、資料が

活用されやすいよう配慮されているか。

- ・大判化されて見やすい。
- ・全体を通して色使いが鮮やかで、はっきりしていて見やすい。
- ・世界・日本の統計において、色の濃淡をつけることで見やすくして おり、作業効率が上がることが期待できる。